

★ 鹿兒島の魅力的な企業で生き生きと働く方々の活躍の様子をご紹介します。



作業員への指示、現場の撮影など安全管理・書類作成などにまつわる業務を担う。時には重機を操り、資材の積み込みなども行う



現場で測量作業を行う原田さん。先輩監督や下請業者ともコミュニケーションを取り円滑に仕事を進める



2019年からは県内企業の働く女性で構成される鹿兒島県女性ワーキンググループにも参加している

「地図に残る仕事がしたい」  
建設業のイメージを覆し、  
女性技術者の道へ



### 株式会社森建設 土木部

原田 真美 さん(30)

垂水市出身。2012年12月入社。「今は子供と一緒にいる時間が楽しい」と、3歳になる子どもを育てながら、フルタイムで勤務。最近はなかなか時間が取れないが、お菓子作りや手芸などが趣味。

#### 事務職から

#### 憧れの技術職へ

鹿屋市輝北町を拠点として、土木建築や港湾の整備などを行っている森建設。外国人や女性など多様な人材が活躍できるよう、ダイバーシティ経営に積極的に取り組んでいる建設会社です。令和元年度には「鹿兒島県女性活躍推進優良企業」の表彰を受けるなど、建設業として女性が働きやすい職場づくりへの取り組みが高く評価されています。

現在、女性技術者として土木部で働く原田真美さん。入社時は経理部に所属し、事務所内で伝票の処理や現金の管理などを担当していました。が、「重機や土木機械などを見るのが好きで、地図に残る仕事へもあこがれていた」という原田さんは、5年前自ら希望して土木部へ異動しました。とはいえ、建設業界では昔も今も現場での仕事は男性が中心。力仕事や免許資格が多数必要なイメージで、不安もあったと言います。しかし、そんな不安を取り除いてくれたのが会社や周囲のサポートでした。

#### 女性が活躍する

#### 建設業界を目指して

まず、現場に女性専用のお手洗いや更衣室を会社が用意するなど設備面をサポート。加えて、二級土木技術者の資格を取得するための上司による勉強会など、知識や経験を重ねる機会を準備してくれたと言います。また、子育て支援のための特別有給休暇や、保育園への送り迎えなどを考慮した出勤時間など、安心して働ける環境も彼女を支えています。

「まだまだ女性の少ない分野ですが、女性の技術者が増えて、女性だけの現場で仕事をしてみたい」と夢を話す原田さん。技術者を目指す女性の希望や勇気につながるよう、原田さんの今後ますますの活躍が期待されます。



株式会社森建設  
鹿屋市輝北町上百引3847-2  
☎099-486-1131

